2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域包括ケアシステム論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	福崎 友和	実務経験とその関連資格	実務経験:包括支援センター3年7ヶ月、訪問看護7年5ヶ月 資格:看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員			
《科目目標》						
地域包括ケアの概念と様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、サービス提供のシステムを理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】課題レポート85%、授業やグループワークへの参加度(質問・発表・取り組み)15% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
デジタルナースングラフィカ 16巻社会福祉と社会保障、29巻高齢者の健康と障害、39巻地域療養を支えるケア、他 メディカ出版 資料						
《授業外における学習方法》						
授業に関連するテキスト箇所を読む、動画を視聴するなど事前に学習を行い、質問事項を考えておく。 ※毎回の学習についての詳細は、授業以外での準備学習を参照						
《履修に当たっての留意点》						
住み慣れた地域で生活を継続することを支えるためのシステムについて学ぶ。社会福祉論、老年看護学概論、地域在宅看護概論での学習内容と関連させながら、地域包括ケアシステムにおける看護の役割について具体的に考える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムについて説明できる	テキスト プロジェクター iPad	「地域療養を支えるケア」p26～p32を読んで疑問に思うところは調べたり、講義で質問できるようにしてください。	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムの背景 地域包括ケアシステムとは			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアにおける様々な機関の役割について説明できる	テキスト プロジェクター iPad	地域包括ケアシステムの5つの構成要素(医療・介護・予防・住まい・生活支援)のうち、あなたが最も関心のあるものを1つ選び、その理由と、実際に地域で行われている具体的な取り組み・事例を調べて簡単にまとめて、指定された期日に提出。	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケア病棟、地域連携室、地域包括支援センター、社会福祉協議会、居宅介護支援事業所の役割について調べる 課題①:地域包括ケアシステムについて			
第3回	講義 形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアの取り組みの実際を理解できる(地域包括ケア病棟、地域連携室)	プロジェクター 地域包括ケア病・地域連携室資料	地域包括ケア病棟・地域連携室の事例を事前に読み自分の考えをまとめて下さい。グループ学習後に授業での学びまとめ、指定された期日に提出する。	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムにおける地域包括ケア病棟、地域連携室の役割と多職種多機関との具体的な連携・調整方法を知る 課題②:地域包括ケア病棟、地域連携室について			
第4回	講義 形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアの取り組みの実際を理解できる(居宅介護支援事業所)	プロジェクター 居宅介護支援事業所資料	居宅介護支援事業所の事例を事前に読み自分の考えをまとめて下さい。グループ学習後に授業での学びまとめ、指定された期日に提出する。	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムにおける居宅介護支援事業所の具体的な活動内容と生活を支えるための多職種・多機関との連携・調整方法を知る 課題③:居宅介護支援事業所について			
第5回	講義 形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアの取り組みの実際を理解できる(社会福祉協議会)	プロジェクター 社会福祉協議会資料	社会福祉協議会の事例を事前に読み自分の考えをまとめて下さい。グループ学習後に授業での学びまとめ、指定された期日に提出する。	
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムにおけ社会福祉協議会の具体的な活動内容と役割を知る 課題④:社会福祉協議会について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアの取り組みの実際を理解できる (地域包括支援センター)	プロジェクター 地域包括支援センター資料	地域包括支援センターの事例を事前に読み自分の考えをまとめて下さい。グループ学習後に授業での学びまとめ、指定された期日に提出する。
		各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムにおける地域包括支援センターの具体的な活動内容と連携・調整にける役割を知る 課題⑤:地域包括支援センターについて		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例について地域包括ケアの視点で考えることができる	プロジェクター テキスト(iPad)	第6回講義で一人暮らしの高齢者の事例を提示します。学生各自が自分なりの支援の視点を整理して、事前に課題とする。講義では、今まで学んできた4つの支援機関(①地域包括ケア病棟・地域連携室、②居宅介護支援事業所、③社会福祉協議会、④地域包括支援センター)のいずれかの立場を選び、看護職としての視点も踏まえてグループで話し合い、発表資料(パワーポイントおよび原稿)を作成する。作成した発表資料は第8回にてグループ発表を行い、指定日時までに提出する。
		各コマにおける授業予定	事例:一人暮らしの高齢者への援助について豊中市での実際のサービス内容とつなげグループでまとめる 課題:⑥発表用PP、原稿		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ 発表	プロジェクター 各グループ資料	
		各コマにおける授業予定	事例についてグループごとにまとめたものを発表し共有する		